

### 音楽芸術学科 カリキュラムマップ (2018年度以前入学者)

**レベル**

学科が想定するレベル(難易度)を示しており、数字はナンバリングコードの「レベルコード」に対応しています。レベルの数字は履修年次とは異なります。履修登録可能な年次は、開講科目表のとおりです。

レベル\*

1群 ミュージシャンシップを養う

音楽を学ぶ上で不可欠な基礎理論・基礎実技を修得する。

DP 1 2 3 4 5 6

音楽の基礎知識  
音楽基礎理論  
合唱 I A・B  
基礎声楽A・B  
基礎ピアノA・B  
和声 I A・B  
基礎ピアノA・B  
ソルフェージュA・B  
ポピュラー音楽入門

教職のためのピアノA・B

2群 キリスト教音楽を体験する

キリスト教を基盤とする西洋伝統音楽の本質と文化的・歴史的な背景に対する理解を深める。

DP 1 2 3 4 5 6

賛美歌学  
賛美歌を作るう  
キリスト教音楽研究 A・B

キリスト教音楽概論1  
キリスト教音楽概論

キリスト教音楽概論2  
キリスト教音楽実践 A・B

3群 ミュージシャンシップを高める

音楽家の技術と精神を養い、音楽性をさらに向上させる。演奏経験を広げる。

DP 1 2 3 4 5 6

西洋音楽通史  
日本音楽通史  
公開講座・コンサート鑑賞

合唱 II A・B  
和声 II A・B  
伴奏法 A・B  
身体科学  
英語で音楽理論  
作品分析  
ポピュラー音楽理論  
邦楽 1・2

合唱 III A・B  
対位法 A・B  
対位法  
共演芸術 A・B  
共演芸術 1 A・B  
共演芸術 2 A・B  
即興演奏ワークショップ  
演奏表現ワークショップ(クラシック)  
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ

編曲のテクニック

4群 音楽の背景を探る

音楽の歴史、理論、社会との関わりを探求する。

DP 1 2 3 4 5 6

西洋音楽通史  
日本音楽通史  
公開講座・コンサート鑑賞

西洋音楽史特殊講義 1・2  
日本音楽史特殊講義  
諸民族の音楽 A・B  
音楽と歴史 1  
音楽と歴史 2  
ポピュラー音楽史  
映画・舞台音楽論 1  
映画・舞台音楽論 2  
映画舞台音楽論  
現代音楽レパートリー  
楽器法

DP 1 2 3 4 5 6

**DP:ディプロマ・ポリシー**

- 1-幅広い教養と専門知識
- 2-諸言語運用能力
- 3-専門知識に基づく課題発見・分析能力
- 4-実践的なコミュニケーション能力
- 5-実践活動を通して他者と協働・共生する力
- 6-音楽と社会を結びつけ新しい価値を見出す力

学科のディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針、DP)(p.138参照)で示す身に付けるべき資質・能力と科目との対応を表します。網掛けされた数字のDPと当該科目が関係します。

5群 社会実践コミュニケーション

キャリア設計を視野に入れる。

DP 1 2 3 4 5 6

医療と音楽  
音楽療法2  
音楽情報論  
マルチメディア著作権ビジネス  
メディア・アート  
コンピュータ音楽制作1  
作・編曲法  
音楽ジャーナリズム  
アート・マネージメント  
音楽とデザイン  
音楽ビジネス  
音楽とインターネット  
環境音楽デザイン  
ステージパフォーマンス・ワークショップ  
身体表現ワークショップ1  
身体表現ワークショップ2  
映像音楽制作ワークショップA・B  
番組制作ワークショップ  
音響機器ワークショップ  
録音実技ワークショップ  
アナウンス・朗読  
声の仕事  
ミュージカルレパートリー・ワークショップ  
日本歌曲・童謡を歌う  
作曲を楽しもうA・B  
ポップスを楽しもう  
バンドを楽しもう  
アンサンブルを楽しもう  
音楽と身体表現  
音楽と脳科学

音楽療法1  
心と音楽  
コーラス・リーダー・ワークショップA・B  
コーラスリーダー・ワークショップ  
音楽起業ワークショップ  
英語で音楽ビジネス  
合奏  
指揮法A・B  
指揮法

コンピュータ音楽制作2  
アニメ・ゲーム音楽制作

6群 専門を深める

基礎演習

応用演習

専門ゼミⅠ・Ⅱ

専門ゼミⅢ・Ⅳ

DP 1 2 3 4 5 6

アカデミック・スキルを身に付ける

公開発表・公開演奏  
海外音楽研修

学外公开发表Ⅰ

学外公开发表Ⅱ

- ①作曲・編曲、②ポピュラー音楽、③ヴォーカル・コミュニケーション、
- ④共演コミュニケーション、⑤音環境デザイン・音のユニバーサルデザイン、
- ⑥メディアテクノロジー、⑦ジャーナリズムの分野で研究実践を深める

7群 専門を極める

修得した技術を用いて、音楽創造作品や演奏表現によって伝えたいことを表現できる。

DP 1 2 3 4 5 6

卒業プロジェクト

PA科目 表現を深める

高度な技能、表現を修得する。

DP 1 2 3 4 5 6

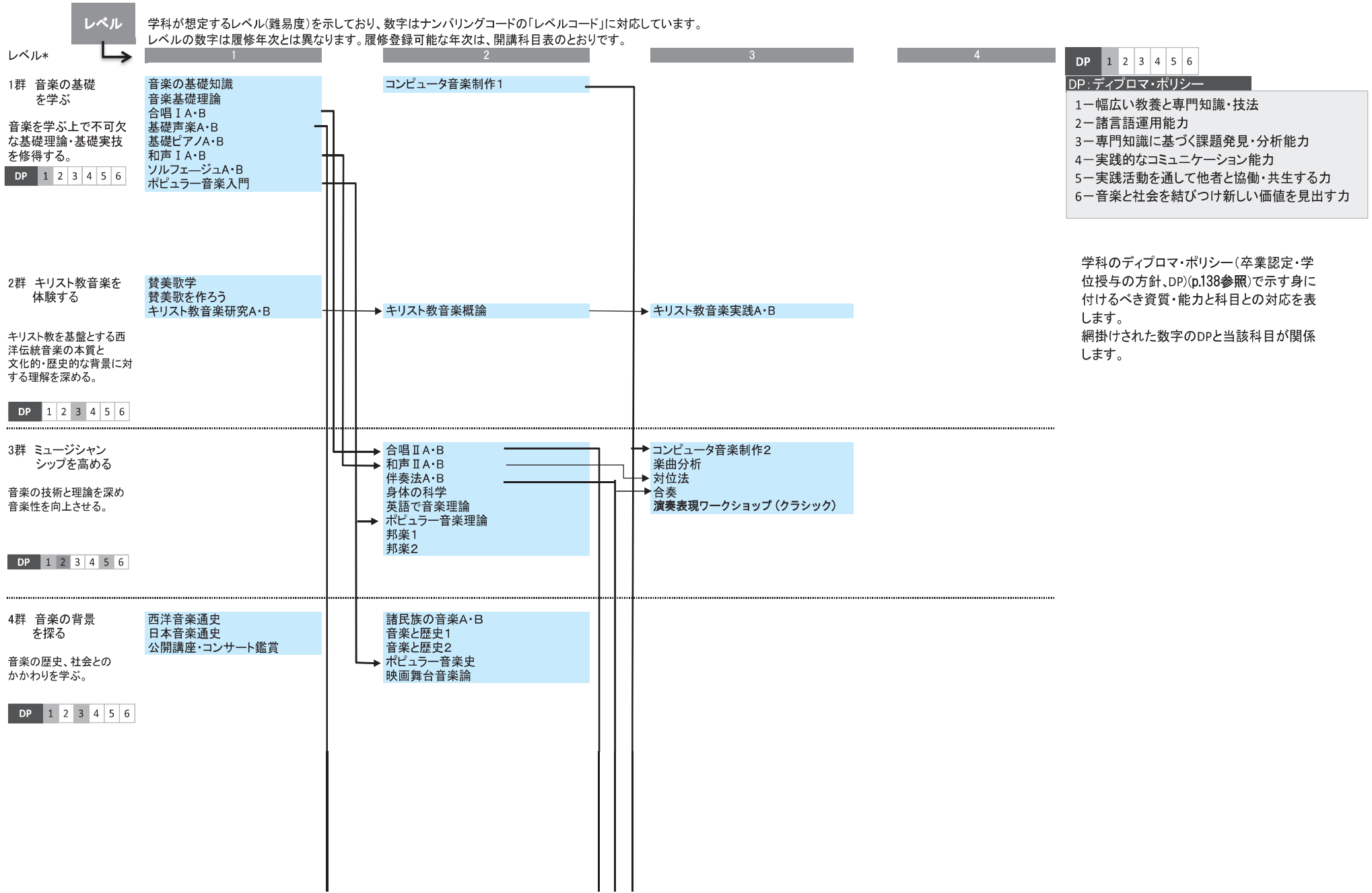
PAキリスト教音楽  
PAピアノデュオ  
PAフルートアンサンブル  
PAアンサンブル管弦楽

PA教職実技(※1)  
PA室内楽

PAミュージカル  
PA声楽アンサンブル(スタンダード)  
PA声楽アンサンブル(アドバンスト)  
PAオペラ

※1: 声楽、ピアノ、伴奏・即興演奏、聴音・音楽理論、初見視唱・初見視奏

### 音楽芸術学科 カリキュラムマップ (2019年度以降入学者)



5群 音楽と社会を  
実践的に体験する

音楽の幅広い役割を知り、  
実践を通じて技能、知識  
を確かなものとする。

DP 1 2 3 4 5 6

- 音楽ジャーナリズム
- 医療と音楽
- 音楽療法2
- メディア・アート
- アート・マネージメント
- 音楽とデザイン
- 音楽ビジネス
- 音楽とインターネット
- 環境音楽デザイン
- ステージパフォーマンス・ワークショップ
- 映像音楽制作ワークショップA・B
- 音響機器ワークショップ
- 録音実技ワークショップ
- アナウンス・朗読
- 声の仕事
- ミュージカルレパートリー・ワークショップ
- バンドを楽しもう
- 音楽と身体表現
- 音楽と脳科学
- 作・編曲法

- 心と音楽
- 音楽療法1
- アニメ・ゲーム音楽制作
- 共演芸術1A・B
- 共演芸術2A・B
- ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ
- コーラスリーダー・ワークショップ
- 音楽起業ワークショップ
- 英語で音楽ビジネス
- 指揮法
- 合唱ⅢA・B
- ピアノ指導ワークショップ
- リトミック指導ワークショップ

6群 専門を深める

基礎演習

応用演習

専門ゼミⅠ・Ⅱ

専門ゼミⅢ・Ⅳ

アカデミック・スキルを身に付ける

公開発表・公開演奏

- 次の10分野のゼミ
- 音とメディアテクノロジー
  - 音と映像
  - サウンドデザイン
  - 音楽ジャーナリズム
  - ポピュラー音楽
  - ミュージックカルチャー&ビジネス
  - 作曲編曲
  - 舞台芸術
  - 共演コミュニケーション
  - 音楽教育

アクティブラーニング型の  
実践的な教育を行い、  
専門知識・スキルによる  
課題発見・解決力の向上を図る。

DP 1 2 3 4 5 6

7群 専門を極める

修得した技術を用いて、音楽創造作品や演  
奏表現によって伝えたいことを表現できる。

DP 1 2 3 4 5 6

卒業プロジェクト

PA科目 表現を深める

高度な技能、表現を修得  
する。

DP 1 2 3 4 5 6

- PA個人実技15(※1)
- PA個人実技30(※1)
- PA個人実技45(※1)
- PAキリスト教音楽
- PAピアノデュオ
- PAアンサンブル弦楽
- PAフルートアンサンブル
- PAアンサンブル管楽
- PAアンサンブル管弦楽

- PA教職実技(※2)
- PA室内楽

- PAミュージカル
- PAキーボード・インプロヴィゼーション
- PA声楽アンサンブル(スタンダード)
- PA声楽アンサンブル(アドバンスト)
- PAオペラ

- ※1: 声楽、伴奏法、器楽、室内楽、作編曲、邦楽、その他
- ※2: 声楽、ピアノ、伴奏・即興演奏、聴音・音楽理論、初見視唱・初見視奏

- PA副科グループ実技(バレエ)
- PA副科グループ実技(ダンス)

- PA第2専攻グループ実技(バレエ基礎)
- PA第2専攻グループ実技(ダンス基礎)

- PA第2専攻グループ実技(バレエ応用)
- PA第2専攻グループ実技(ダンス応用)